令和４年度　第４回　ネット・モニターアンケート

東日本大震災被災地支援活動について

■アンケートの趣旨

名古屋市では、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災の発生直後から被災地への職員派遣を行っており、令和 4 年度も岩手県陸前高田市へ職員を継続して派遣しています。今回のアンケートは、東日本大震災から約 11 年 5 か月が経過した今、被災地支援及び陸前高田市との交流の取り組みなどについて、市民の皆さまがどのように考え、評価されているのかをおたずねし、今後の支援等の参考とするものです。

■説明・前提条件

Ｑ１：必須 ・選択数１つ	Ｑ２：必須 ・選択数１つ	Ｑ３：必須 ・選択数１つ	Ｑ４：必須 ・選択数１つ
Ｑ５：必須 ・選択制限なし	Ｑ６：必須 ・選択数１つ	Ｑ７：必須 ・選択肢１つ	Ｑ８：任意 ・自由記載

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出（このため、合計が 100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常 100%を超える

■アンケート実施期間

令和４年８月２６日（金）　から　令和４年９月５日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数：　500 人　　回答数：　462 人　有効回収率：　92.4%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
防災危機管理局　危機対策室
電話：052-972-3585　　ＦＡＸ：052-962-4030
E-Mail：a3585@bosaikikikanri.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局　広聴課
電話：052-972-3139　　ＦＡＸ：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

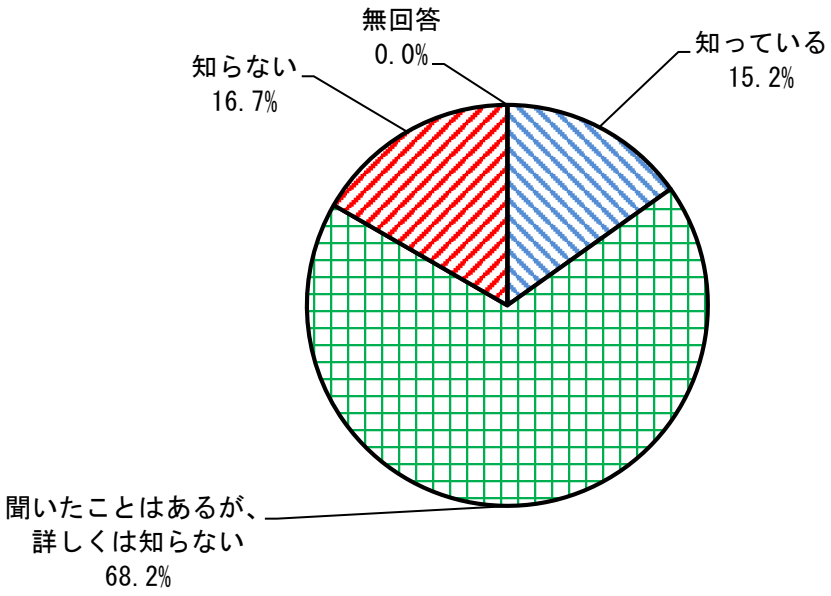
関連リンク

〇名古屋市の被災地支援の取り組み（名古屋市公式ウェブサイト）

http://www.city.nagoya.jp/bosaikikikanri/page/0000035781.html

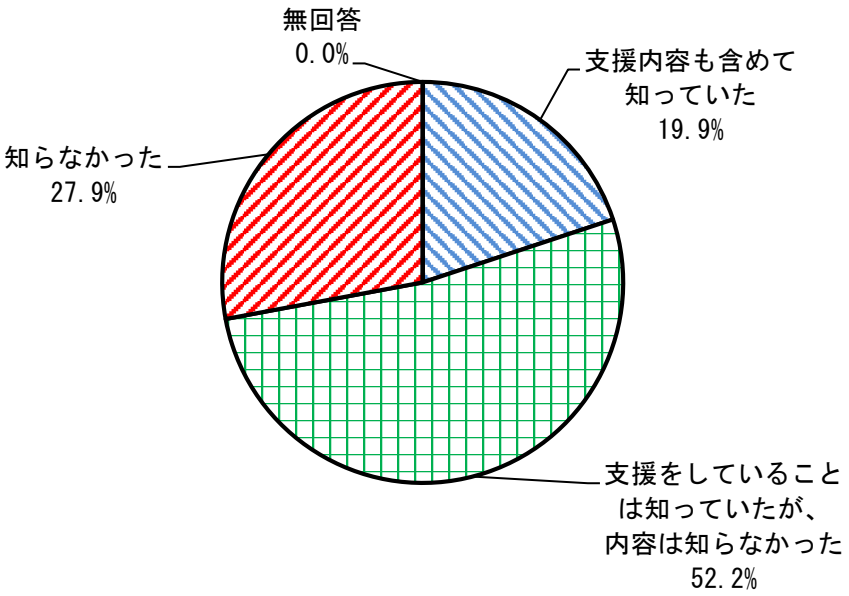
Ｑ１【※必須】あなたは、現在の被災地の復興状況を知っていますか。（選択は１つ）

Ｎ＝462



Ｑ２【※必須】あなたは、名古屋市の被災地支援の取り組みを知っていましたか。
（選択は１つ）

Ｎ＝462



＜被災地域への職員派遣について＞

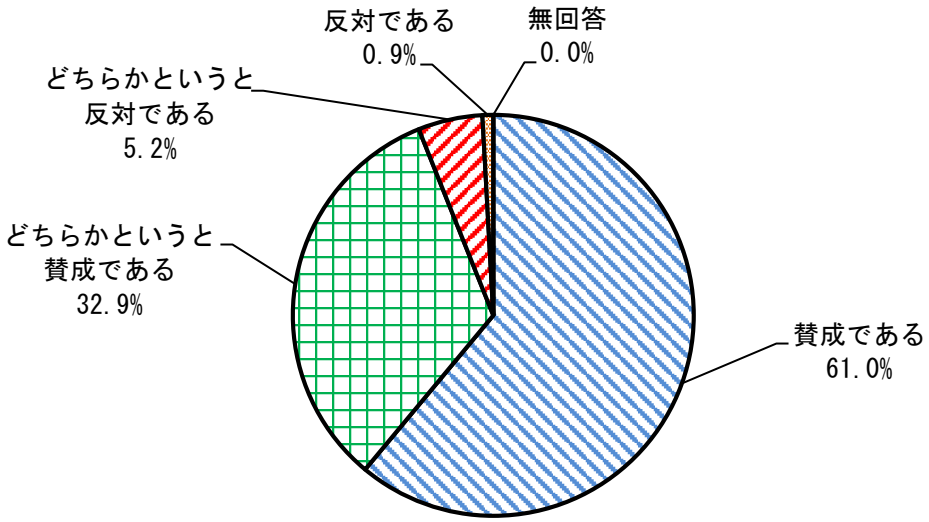
名古屋市では、陸前高田市“行政丸ごと支援”を掲げ、震災直後から被災地のニーズに対応して、業務に精通した職員を派遣しています。

陸前高田市では、これまで震災復興計画等に沿って復興事業を進めてきており、昨年度までに区画整理事業や道路復旧事業等、ハード面の復興事業については完了しているものの、現在も様々な復興に向けた取り組みを実現するために、引き続き人的支援を必要としています。

○【参考資料】派遣職員の今年度およびこれまでの業務内容・職員派遣実績

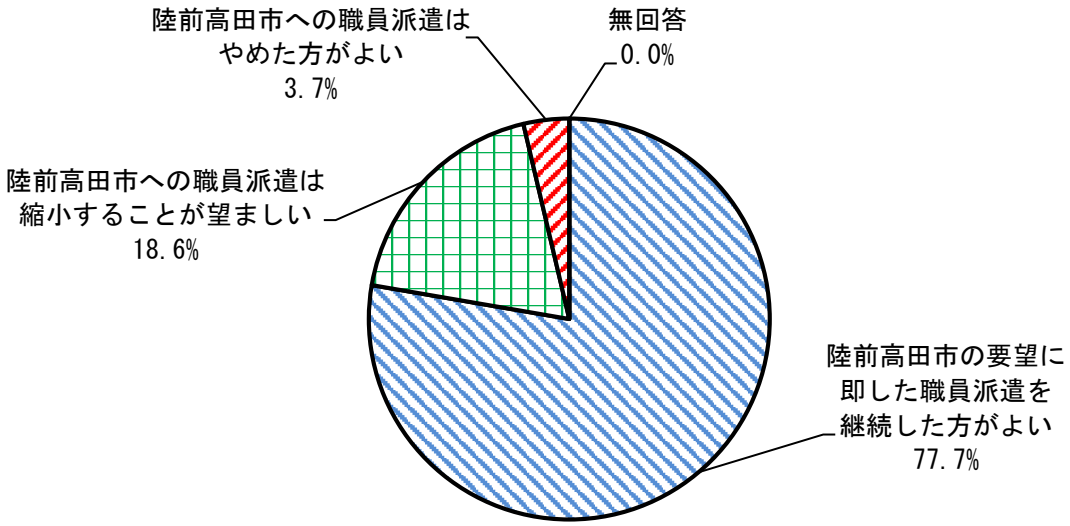
Ｑ３【※必須】 現在、名古屋市が被災地へ職員派遣していることについてどう思いますか。（選択は１つ）

Ｎ＝462



Ｑ４【※必須】来年度以降の名古屋市の陸前高田市への職員派遣についてどう思いますか。（選択は１つ）

Ｎ＝462



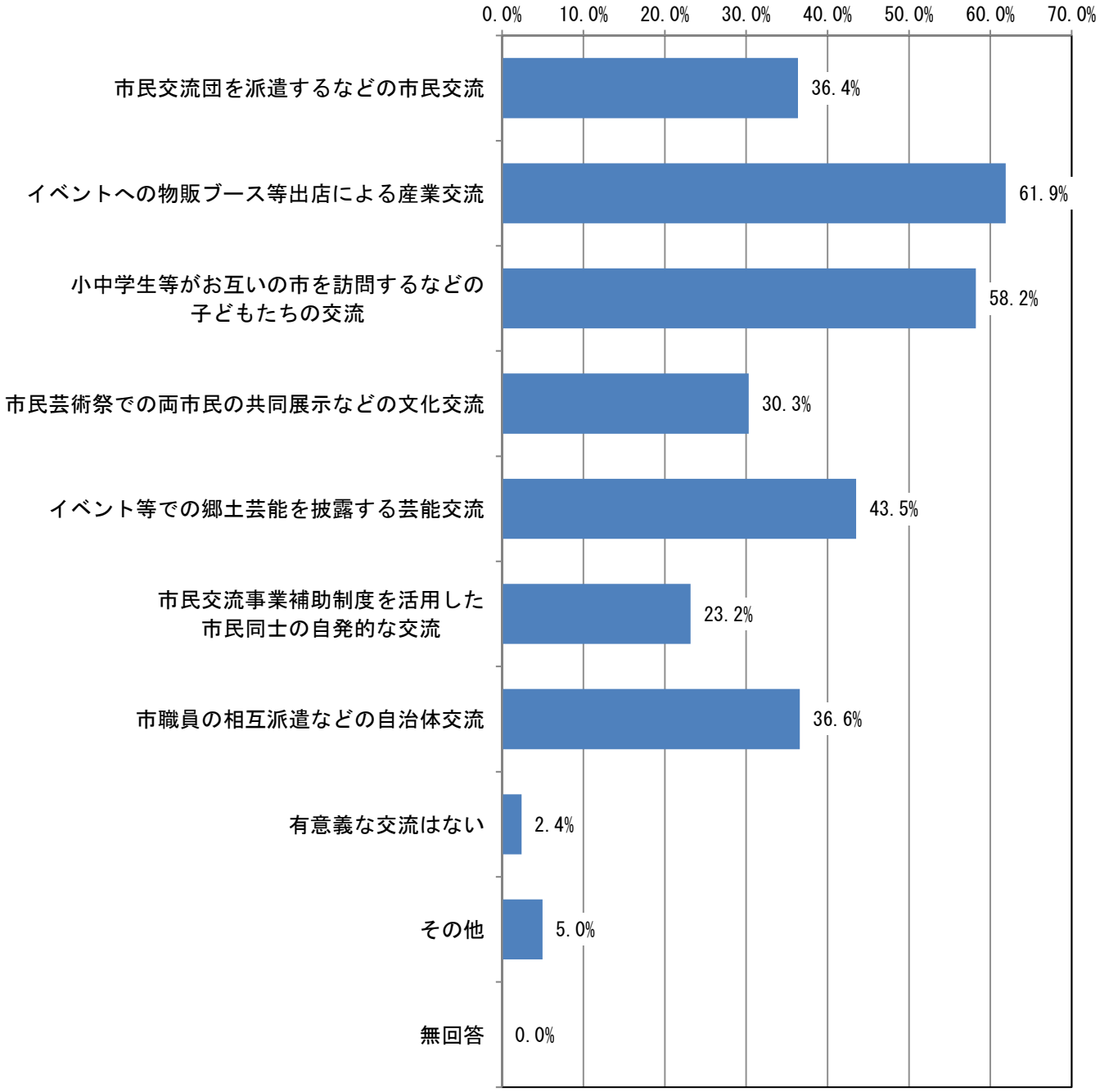
＜陸前高田市との交流について＞

名古屋市と陸前高田市は名古屋市の行政まるごと支援が縁となり、強い信頼関係のもと、両市の交流が末永く続けられるよう、平成 26 年 10 月 28 日に友好都市の協定を結びました。

名古屋市では、陸前高田市の復興の進展に合わせて、陸前高田市への支援から、名古屋市と陸前高田市の間での双方向の交流へと進めていきます。

Ｑ５【※必須】名古屋市と陸前高田市の友好都市としての交流が末永く続けられるために、あなたは、どの交流が有意義だと思いますか。（選択はいくつでも）

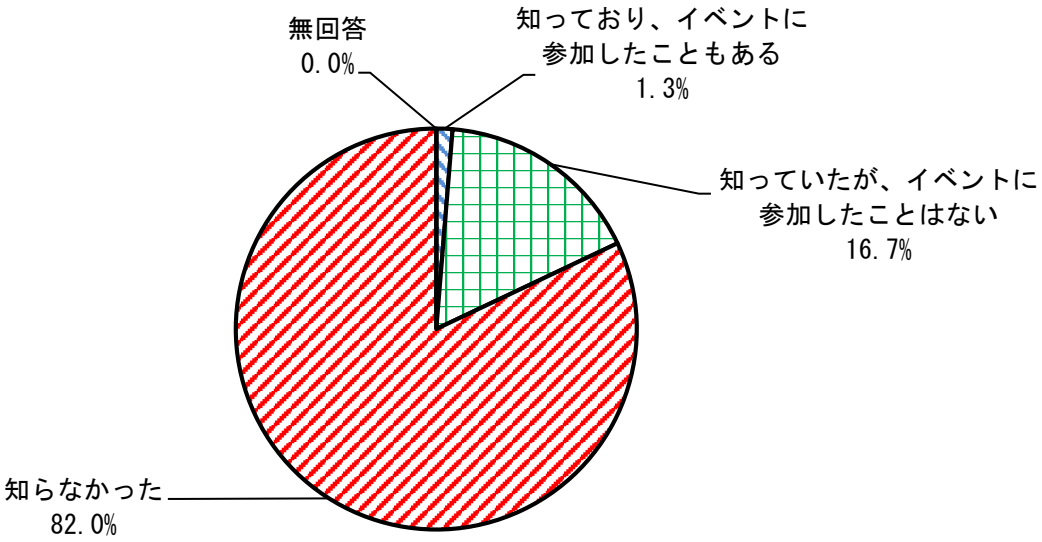
Ｎ＝462



名古屋市では、東日本大震災 10 年の節目にあたり、陸前高田市から名古屋市に「奇跡の一本松」後継樹が友好の証、交流のシンボルとして贈呈され、令和 3 年 3 月 23 日に東山動植物園に植樹されたことを契機として、毎年 3 月 23 日を「絆の日」として定め、陸前高田市との交流・防災啓発イベントなど様々な取り組みを実施しています。

Ｑ６【※必須】あなたは、毎年 3 月 23 日が陸前高田市との「絆の日」であることを知っていましたか。（選択は１つ）

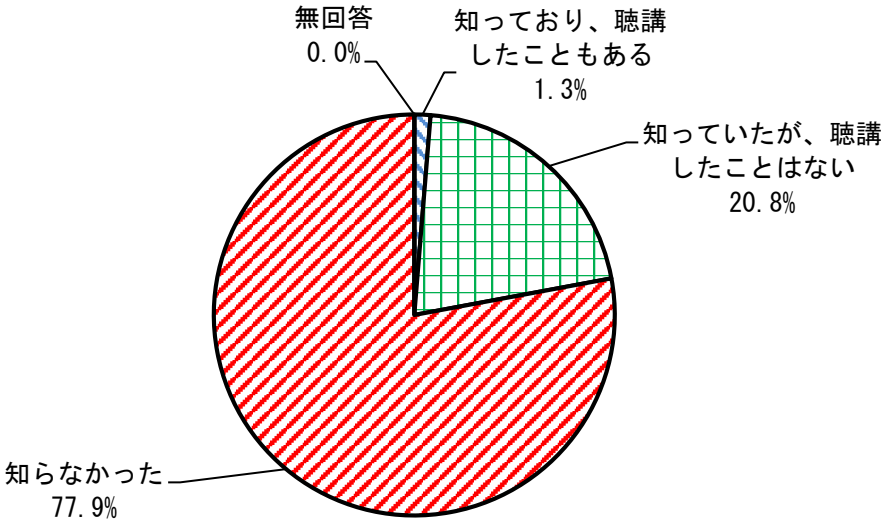
Ｎ＝462



名古屋市では、被災地への支援によって得られた教訓や経験を市職員間で情報を共有して防災施策に活かしているほか、被災地派遣職員等による講演会などを実施して市民の防災意識の向上を図っています。

Ｑ７【※必須】あなたは、名古屋市が被災地派遣職員等による講演会を実施していることを知っていましたか。（選択は１つ）

Ｎ＝462



Ｑ８　東日本大震災の被災地支援活動に関してご意見があればご記入ください。（自由記載）

・せっかく長きに渡り支援していますので、もっともっと内外にアピールが必要だと思います。新聞はもちろん、広報あいちなども見ているつもりですが、知らない事もありました。わざわざ取りに行かないとわからないものではなく、ニュースやSNSなどを使ってアピールしてもらいたいです。
悪い事は何もしなくても伝播しますが、いい事はアピールしていかないと、し続けていかないと、なかなか伝わらないと思います。

・東日本大震災から11年以上経っているので、陸前高田市の要望を踏まえながらも、同市の自立を促すためにも、徐々に支援を縮小していくのが良いと思う。

・被災地が必要としている支援を続けていただきたいです。
ダラダラ同じ事を続けていくのではなく、定期的に被災地の方に、今は何が必要なのか確認し、実態に合った支援をして欲しいです。

・今後も積極的に支援していくことに賛成です。特に、未来を担っていくであろう、子どもたちの交流は意味のあるものだと思います。

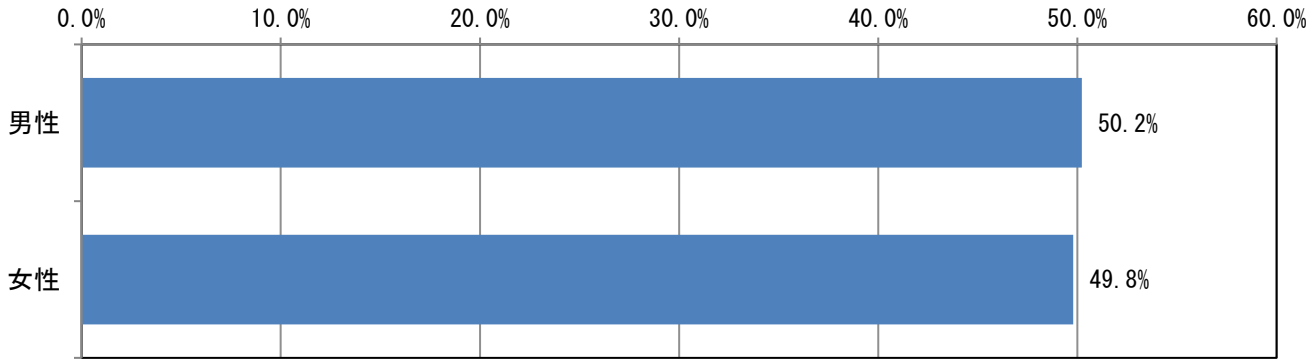
・いつか私たち名古屋市民も大地震に見舞われることがあると考えると、その対策として経験談を学んでおくことは非常に大切だと思う。そのため、今後も継続的に陸前高田市と交流していただきたい。

ほか

■属性集計

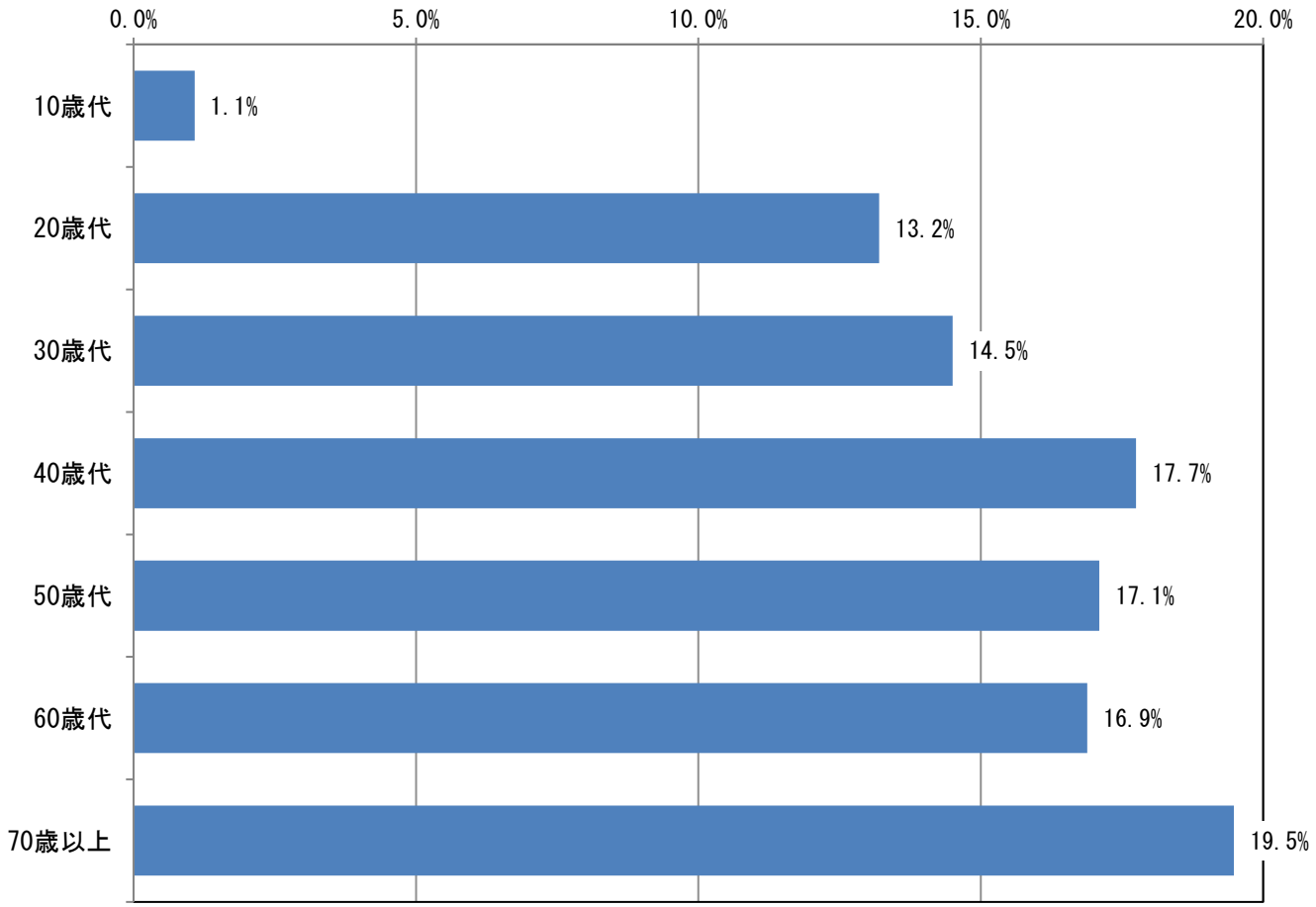
性　別

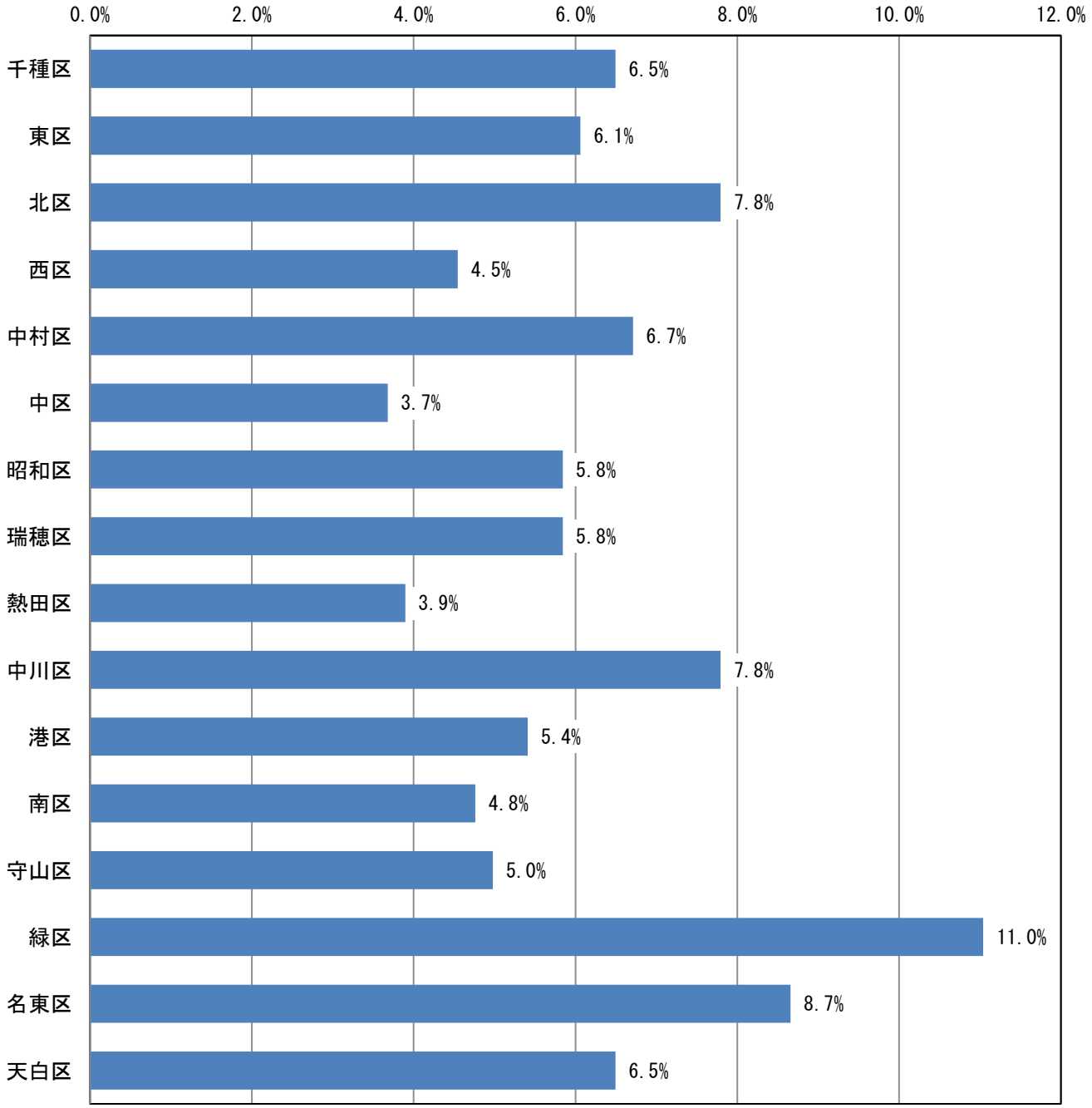
	全体	男性	女性
%	100.0%	50.2%	49.8%
回答者数	462	232	230



年　代

	全体	10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
%	100.0%	1.1%	13.2%	14.5%	17.7%	17.1%	16.9%	19.5%
回答者数	462	5	61	67	82	79	78	90



居 住 区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.5%	6.1%	7.8%	4.5%	6.7%	3.7%
回答者数	462	30	28	36	21	31	17
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.8%	5.8%	3.9%	7.8%	5.4%	4.8%
		27	27	18	36	25	22
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		5.0%	11.0%	8.7%	6.5%		
		23	51	40	30